

日清食品とのコーポレートP P A およびアワリーマッキングシステムの実証の実施

2025年5月26日
関西電力株式会社

当社は、日清食品株式会社（以下、日清食品）とコーポレートP P A※¹の契約を締結し、2025年6月から、日清食品の関西工場・滋賀工場へ再生可能エネルギー由来電力の供給と環境価値の提供を開始します。

また、リアルタイム（1時間単位）で再生可能エネルギーの発電量と電力消費量が一致していることを証明するアワリーマッキングシステムの実証を今年度中に開始します。

コーポレートP P Aについては、K D S 太陽光合同会社が約2,000kWの太陽光発電設備を新たに開発し、当社は日清食品の両工場へ、太陽光発電設備により発電した再生可能エネルギー由来電力の供給と環境価値を提供します。これにより、年間約1,600t※²に相当するCO₂排出量の削減効果が見込まれます。

また、アワリーマッキングシステムの実証では、本コーポレートP P Aによる太陽光発電設備の発電量データと、両工場の電力消費量データを1時間単位で照合し、ブロックチェーンに記帳することで、太陽光発電による電力がリアルタイムで消費されていることを証明します。

近年、「24/7 Carbon Free Energy」※³への関心が高まっており、GHGプロトコルの改定※⁴に向けた検討においても、アワリーマッキングやCO₂排出係数の時間的な粒度を高めることが論点になっています。こうした動向も踏まえ、本実証では1時間単位のCO₂排出係数も算出・可視化します。CO₂排出削減効果の高い時間帯を把握することで、電力使用時間帯のシフトによるCO₂排出量の削減、工場における生産計画の立案、再生可能エネルギーや蓄電池等の最適制御技術の開発に活用してまいります。

当社は、「アワリーマッキングシステム」の実用化を目指すとともに、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献してまいります。

※1：「Power Purchase Agreement」（電力購入契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法。

※2：2023年度の関西電力調整後の温室効果ガス排出量排出係数 0.419kg-CO₂/kWhから算出。

※3：24時間365日、ゼロカーボン電力100%使用を目指す考え方。2021年9月に国連が主導して発足したイニシアティブ「24/7 CFE Compact」が提唱する概念。

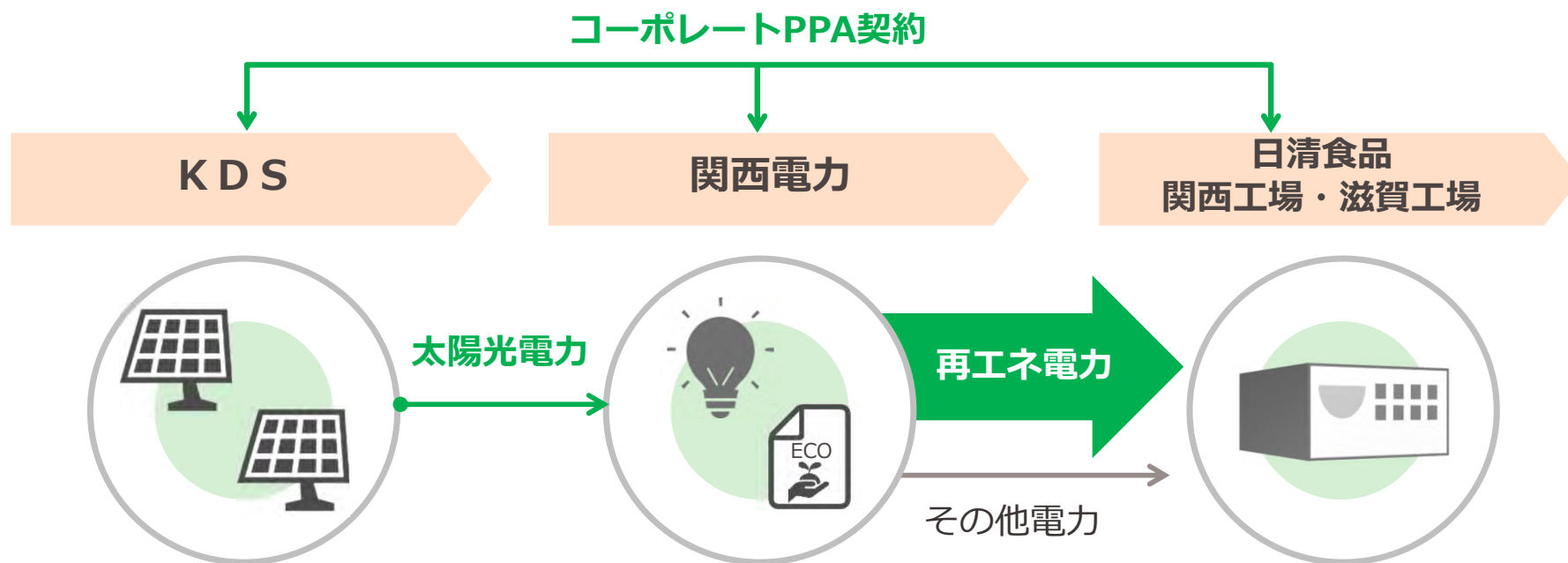
※4：企業が温室効果ガスの排出量を算定・報告するための国際的な基準。

以 上

別紙1：日清食品へのコーポレートP P Aを活用した再エネ電力供給

別紙2：アワリーマッキングに関する実証の概要

発電事業者	K D S 太陽光合同会社
小売事業者	関西電力株式会社
需要家	日清食品株式会社
発電出力	約 2, 0 0 0 k W
供給開始時期（予定）	2 0 2 5 年 6 月から順次供給開始



- ・ 太陽光発電設備の開発、運営

- ・ 再生可能エネルギー電力の需給調整、供給
- ・ その他電力の調達・供給

- ・ 再生可能エネルギー電力の受電、長期安定的な利活用

- 発電量と電力消費量がリアルタイム（1時間単位）で一致していることを証明する、アフリーマッチングの実証を行います。
- コーポレートPPAによる太陽光発電の発電量データと、日清食品の関西工場および滋賀工場における電力消費量データを照合し、ブロックチェーンに記帳することで、太陽光発電による電力がリアルタイムで消費されていることを1時間単位で証明します。
- 近年、「24/7 Carbon Free Energy」への関心が高まっており、GHGプロトコルの改定に向けた検討においても、アフリーマッチングやCO₂排出係数の時間的な粒度を高めることが論点になっています。こうした動向も踏まえ、本実証では1時間単位のCO₂排出係数も算出・可視化します。
- CO₂排出削減効果の高い時間帯を把握することで、電力使用時間帯のシフトによるCO₂排出量の削減、工場における生産計画の立案、再生可能エネルギーや蓄電池等の最適制御技術の開発に活用してまいります。

【実証概要】

- ・ 発電データと需要家の消費データの時間ごとのデータ管理技術を構築。
- ・ 抽出されたデータをブロックチェーンに記帳し、真正性を担保。
- ・ リアルタイム（1時間単位）で、再生可能エネルギーの発電量と電力消費量が一致していることを証明、CO₂排出係数を可視化。

